

平成28年度 夏季キャンプ実習

8月5日（金）～8日（月）、宇都宮共和大学・宇都宮短期大学長坂キャンパスにて、3泊4日のキャンプ実習が行われました。参加学生は、これまで「野外活動Ⅰ」の授業を履修してキャンプインストラクター資格取得を希望している宇都宮共和大学子ども生活学部1年生と宇都宮短期大学人間福祉学科1年生、合わせて45名でした。子ども生活学部2年生7名も、4日間を通して運営スタッフ兼カウンセラーとして協力しました。

1日目は猛暑の中、午後1時にスタートしました。開講式後のキャンプサイト設営では、水分補給をこまめにしながら、テントを立てたりテーブルやイスを設置したりしました。その後の夕食づくりでは、どの班も手際よく、この日のメインメニューである『焼うどん』を作っていました。天気にも恵まれ、無事初日を終わることができました。

2日目も朝から暑い一日となりましたが、予定通りプログラムを進めることができました。午前中は、竹を使って菜箸やペーパーナイフを作りました。2日目午後と3日目は、とちぎYMCAから講師をお招きし、さまざまな自然体験活動について指導していただきました。みんなで集団ゲームを行ったり、グループごとにネイチャーゲームを体験したりと、学生たちは暑い一日ではありませんでしたが、元気一杯、とても楽しそうに参加していました。

3日目の夜には、多目的アリーナでキャンドルファイヤーを行いました。歌を歌ったり、ゲームをしたりしながら、キャンプ実習最後の夜を楽しみました。また、それぞれが小さなロウソクの炎をじっと見つめながら、あっという間の3日間をふりかえっていました。

今年は一度も雨に降られることなく、4日間を過ごすことができました。キャンプ指導者になるための仕上げの実習を通して、学生たちは、自然の素晴らしさや、仲間とのつながりを深めていくことの喜びを実感したようです。





